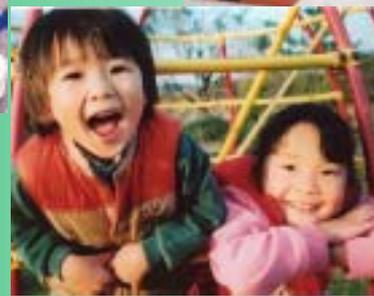


Department of Pediatrics, Tsukiyama Hospital 月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (~はチルダ = キーボードの@の上の^をshiftで変換)
携帯 http://paa.jp/t/107401/ (アイチケット共通)



あけましておめでとうございます、
年賀状ありがとうございました、
本年もよろしく願いいたします



月山病院小児科では子供達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

月山病院小児科からのお知らせ

2月11日(憲法記念日=金)は9-12時にて小児科日直対応をさせていただきます

金曜日午前の月山聖子の外来はしばらくの間、お休みさせていただきます月山啓が担当させていただきます

インフルエンザ流行状況について

今年度最初にインフルエンザウイルス感染が報告されたのは例年より一カ月以上早い時期だったものの、その後近畿では1月初旬現在、流行はみとめられていません。和歌山でも報告例はあるもの流行はしていません。流行が強いものになるかどうかについても現時点では不明です、インフルエンザの検査のキットや薬については今年度については十分量が生産され出荷される見通しで、昨年のように検査や薬がなくなることはないと思われます。流行につきましては次のホームページなどを参照下さい

インフルエンザ情報サービス

<http://influenza.elan.ne.jp>

和歌山市感染情報センター

<http://www12.ocn.ne.jp/kansen> (はチルダ)

インフルエンザかな?
毎年冬になると流行するのがインフルエンザです、この時期熱がでるとインフルエンザでは?と聞かれることも多くなってきました、インフルエンザは近年診断法や治療法が大きく変化しましたため混乱もあるようです、インフルエンザ流行前の注意点についてお話をします
インフルエンザは何から疑うか
インフルエンザを医師が疑う前提条件はまず流行状況です、インフルエンザの特徴としてはその地域で急激に流行するものの流行していない時期は全く検出されないということがあります、検査は数年前からできるようになりましたが流行していない場合は発熱だけでは検査することはありません
流行前に気をつけること
しかし、その地域で一人目の方というのは必ず存在するわけであり、この場合は症状から疑いを持つこととなります、急激に上昇する発熱に加え、頭痛、関節痛などがある場合は注意が必要で検査を行い診断を確定することになります
検査の方法は
鼻に綿棒を差し入れて鼻汁を採取し、十分程度で結果がわかります、ただし熱がでてから間もない時期は、たとえインフルエンザに罹っていても検査ではインフルエンザではない、と判定されることがあり注意が必要です、疑われる場合は時間が経過してから再度検査することがあります